

秋夕(チュソク)連休 アフリカ豚コレラ侵入防止のため全国空港一斉点検キャンペーン実施

<http://www.mafra.go.kr/mafra/293/subview.do?enc=Zm5jdDF8QEB8JTJGYmJzJTJGZWVmcEIMkY2OCUyRjMyMTIyOSUyRmFydGNsVmllY5kbyUzRnJnc0VuzGRIU3RyJTNEJTI2YmJzT3BibldyZFNlcSUzRCUyNnBhZ2UIM0QxJTI2cm93JTNEMTAIMjZwYXNzd29yZCUzRCUyNnJnc0JnbmRIU3RyJTNEJTI2YmJzQ2xTZXEIM0QIMjZcmNoQ29sdW1uJTNEJTI2aXNWaWV3TWluZSUzRGZhbHNIJTI2c3JjaFdyZCUzRCUyNg%3D%3D>

(以下、機械翻訳などによる仮訳)

摘要

農食品部は秋夕(チュソク:韓国の祝日)前後のアフリカ豚コレラ(ASF)の国内侵入を阻止するため、海外からの旅行者を対象とした携帯畜産物検査の強化と一斉広報キャンペーン等を推進。

○秋夕連休期間中、違法携帯畜産物検査強化および国境検疫の実施状況の一斉点検を実施する。

- 携帯品検査:検疫探知犬の配置(金浦空港、仁川港)、畜産関係者に対する所持品検査等
- 広報キャンペーン:主要空港において一斉広報キャンペーン(9月10日)

*現場検査:農食品部次官による金浦空港視察(9月3日)、食品産業政策室長による清州空港視察(9月5日)

- 広報の協力:地下鉄駅構内、空港リムジンバスモニター、KTX(韓国高速鉄道)駅、ターミナル、16言語による映像広告のインターネット放送等
- 現場検査:国際空港を対象とする国境検疫状況の点検

□農林畜産食品部(以下農食品部)は、秋夕前後に韓国へ入国する海外旅行客が増加すると予想し、ASFの国内侵入を阻止するために、海外旅行客の手荷物検査を強化し、畜産物が持たれないよう集中的な広報を実施する。

○海外旅行客の携帯品検査強化のために金浦空港、仁川港に検疫探知犬を配置し、海外旅行後に韓国へ入国する畜産関係者に対しては消毒等の措置とともに畜産物所持の有無を確認するなど検査を強化する。

○秋夕連休を控え、9月10日に主要空港(11か所*)で海外旅行客の不法携帯畜産物搬入禁止のための‘一斉広報キャンペーン’を実施し、KTX(韓国高速鉄道)駅、バスターミナル、インターネット放送、空港リムジンバス広告等により、海外から韓国へ入国する際に畜産物を持たないよう広報する計画。

* 空港7か所:仁川、金浦、大邱、金海、清州、済州、務安、
港湾4か所:仁川、平沢、釜山、群山

□また、農食品部はASF侵入防止のために推進してきた検疫対策が現場において実行されているか確認するため、全国主要空港での国境検疫の実施状況を視察し、国境検疫に死角がないよう細心の注意を払って現場管理を行う。

○今回の点検では、ASF発生国から韓国へ入国する旅行者の携帯品検査、畜産関係者の消毒措置、船

船・航空機内の厨芥管理、国境検疫広報などの実施状況を確認する。

□また、農食品部は、海外旅行者が秋夕前後に、中国やベトナム等 ASF 発生国を訪問した場合、畜産施設の訪問を自制し、畜産物を携帯して韓国へ入国しないように注意を促した。

○携帯畜産物を申告しない場合、最高で 1000 万ウォン(約 87 万円)の罰則金を科すことを規定しており、摘発された場合、厳正に罰則金を科す計画である。